

令和5年度 介護支援専門員更新研修（専門研修課程Ⅰ）における 事前課題シート①～③の提出について

1. 事前課題シート作成の目的

介護支援専門員として終業後の実践の振り返りを通じて、ケアマネジメントプロセスを再確認した上で、専門職として自らの課題を理解する。

2. 作成する様式

- (1) 事前課題シート①「介護支援専門員が直面する困難の内容」
- (2) 事前課題シート②「対人援助職者の六つの成長段階」
- (3) 事前課題シート③「ケアマネジメントプロセスの自己点検表」

様式は、石川県ホームページからダウンロード可能です。

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ansin/keamane/kenshu.html>

ホーム > 連絡先一覧 > 健康福祉部長寿社会課 > 介護支援専門員にかかる研修について ページ内
または、県ホームページ右上の検索メニュー内「キーワードから探す」より、「介護支援専門員にかかる研修について」と検索

3. 作成の留意点等

受講者番号（3ケタの数字）と受講者氏名を忘れずに記入してください。

- (1) 事前課題シート①「介護支援専門員が直面する困難の内容」

現在、ご自身で困難と感じている項目にチェック（）を入れて下さい。

- (2) 事前課題シート②「対人援助職者の六つの成長段階」

第1段階から第6段階までの成長段階のうち、「現在、ご自身が介護支援専門員として、どの段階にいると思われるか」、「その根拠は何か」、また、「次の段階に進むために、どんな課題があるのか」について考察し、その内容を記入してください。

- (3) 事前課題シート③「ケアマネジメントプロセスの自己点検表」

※作成にはテキストが必要ですが、注文後にまだ到着していない場合は、
別添資料（テキストの関係個所のコピー）を使用してください。

ご自身がケアマネジメントプロセスの諸項目について、何が出来ており、何が出来ていないかを振り返る際に、参考となります。

ご購入頂く本研修指定テキストの37～56ページを参照して、各項目の達成度を○、△、×印で評価（表示）し、その理由を簡記してください。

- (4) 作成した事前課題シート①～③は、研修1日目に使用しますので、原本は各自保管し、当日はお手元に置いてください。

4. 提出について

(1) 提出方法

○作成した事前課題シート①～③を、コピーし、順に並べてホッチキスで留めてください。 原本は各自保管してください。

○コピーした事前課題シート①～③は、「使用料（手数料）納入票」、「研修記録シート1（目標）」、「作成した事例一式（コピー）」とともに郵送してください。
（簡易書留推奨）

(2) 提出先 〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
石川県健康福祉部 長寿社会課 地域包括ケア推進グループ あて

(3) 提出期限 5月18日（木）必着【厳守】

事例の提出について

1. 事例作成の目的

受講者が自己の経験に基づき作成した事例を使用したグループワークを行うことにより、他のグループメンバーと共に以下の内容を研修する。

- 自己の実践の振り返りを通じて、ケアマネジメントプロセスを再確認する。
- 類似した別の事例や状況に対応する力を身につける。
- 地域の課題の抽出や解決に向けた取り組みにつなげる。

2. 提出する事例の項目について

提出する事例の項目（A～G）は個人別に指定されています。

必ず指定された項目（A～G）で事例を作成してください。

指定以外の項目で提出された場合は、指定の項目で再提出していただきます。

※A～Gの一覧は裏面別表参照（Bの提出はありません）

3. 作成する様式

- (1) 事例シート1【表紙】提出書類一覧表
- (2) 事例シート2【事例概要】
- (3) 事例シート3【ジェノグラム・エコマップ・生活歴】

※本紙3ページ目の「6. 事例シート3の記入例」を参考に記入してください。

- (4) 事例シート4(1)(2)【事例のアセスメント情報(1)(2)】
- (5) 事例シート5(1)(2)【事例のアセスメント情報(3)(4)】

事例シートは、石川県ホームページからダウンロード可能です。

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ansin/keamane/kenshu.html>

ホーム > 連絡先一覧 > 健康福祉部長寿社会課 > 介護支援専門員にかかる研修について ページ内
または、県ホームページ右上の検索メニュー内「キーワードから探す」より、「介護支援専門員にかかる研修について」と検索

4. 作成にあたっての注意事項

- (1) 事例シート2の「この事例を選んだ理由」欄には、自身が担当した際、難しく感じた・困った・判断に困った事例や、振り返りを行いたい事例を提出してください。

※「①事例の項目が指定されたから」、「②事例項目の担当ケースが他にないから」等、上記の提出の主旨にそぐわないと判断される記入は、再提出を求めることがあります。

※②の場合でも、上記の提出の主旨に沿って記入していただければ問題ありません。

- (2) 個人情報保護のため、個人を特定できないように、十分留意してください。

○利用者は「Aさん」で統一します。

○実際の固有名詞（氏名・住所・施設名等）はアルファベットで記入してください。

(記入例：長男Bさん、C県・市、D病院、E事業所、Fセンター等)

○日付を記入する際は、元号・年・月までの記入となります。

(ただし、同月内で事例の経過等がある場合は、詳細を伏せ、経過が分かるように記入いただいてもかまいません。 記入例：平成28年6月●日、6月1●日)

(3) 作成した事例は、研修中に事例研究で使いますので、手書きで記入する場合は、他の受講者が見やすいように、丁寧に、濃い字で書いてください。

(4) 作成した事例の原本は、各自で保管してください。

5. 提出について

(1) 提出方法

作成した事例は、片面印刷でコピーし、事例シート1～5を順に並べてクリップで留めてください。(両面印刷・ホッチキス留め不可)原本は各自保管してください。
使用料(手数料)納入票、研修記録シート1、事前課題シート①～③とともに郵送してください。(簡易書留推奨)

(2) 提出先 〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
石川県健康福祉部 長寿社会課 地域包括ケア推進グループ あて

(3) 提出期限 5月18日(木) 必着【厳守】 ※金沢市内でも、到着まで2日程かかります。

(別表) 事例一覧 ※ 提出する事例の項目(A～G)は個人別に指定されています。

項目	科目名	キーワード例
A	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	筋力低下改善・日常運動の強化・リハビリテーション実施・住宅改修・福祉用具利用・外出支援・高齢者の外出先の開発・外出時の休息やトイレについて・機能強化ロボット使用 等
B	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	生活機能低下における対応・看護サービス利用について・生きがいの実現のための支援・痛みの改善の取組・緩和療法・死の受容に関する事・葬儀や遺品に関する相談対応 等
C	認知症に関する事例	初期診断に関する対応・地域ネットワーク構築・認知症の理解・環境変化における対応・行動障害の取組・認知症治療に関する事・精神疾患における医学的・心理的な状況 等
D	入退院時における医療との連携に関する事例	医療チームへの伝達・介護チームへの伝達・説明責任・難病の取組・医療の活用・入院における介護負担に関する事・入退所におけるコンプライアンスに関する事・高齢者に多い入院を伴う疾患・感染症 等
E	家族への支援の視点が必要な事例	家族に疾患がある場合の対応・利用者と家族の受け止め方が違う場合の対応・家族が本人の生活機能に強く影響する場合の対応・家族間の関係性を対応した 等
F	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	地域支援・社会資源と特徴と対応・社会資源との連携・社会資源介入と対応・地域特性と社会資源の関係・生活保護制度・成年後見制度利用・虐待事例 等
G	状態に応じた多様なサービス(地域密着サービス、施設サービス等)の活用に関する事例	住み替えの対応・生活機能促進、利用者の主体的な選択に関する対応・説明と同意に関する事・施設サービスの対応・地域密着サービスの対応・定期巡回・随時対応型訪問介護看護・看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)・小規模多機能居宅介護活用 等

6. 事例シート3の記入例

【ジェノグラム・エコマップ・生活歴】 令和5年度 介護支援専門員更新研修（専門研修課程Ⅰ）事例事例シート3

◎ジェノグラム

※ジェノグラムを記入してください。

!エコマップ記入の留意点!

現在のつながりだけではなく、これまで暮らしてきた中で築いてこられたつながり（希薄になっている関係・途絶えている関係）についても、記載してください。
希薄になっている関係は **---**、途絶えている関係は **—X—** で表現します。

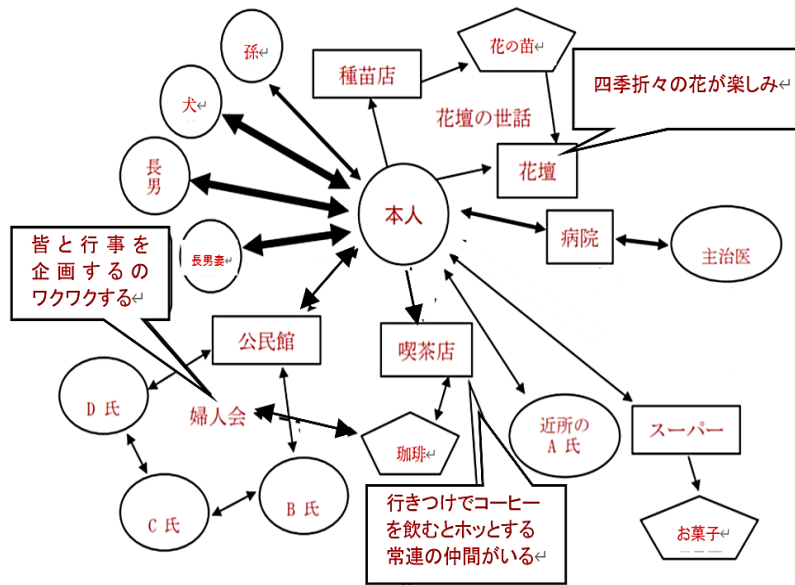
◎一日の過ごし方

【これまでの暮らし】

5時 起床
5時半 調理・洗濯
6時半 朝食
7時 洗濯干し
8時半 孫の保育所送り
10時 畑仕事
12時 昼食
15時 洗濯物たたみ・裁縫
16時 孫の保育所迎え
18時 調理
19時 夕食
20時 入浴
22時 就寝

◎エコマップ

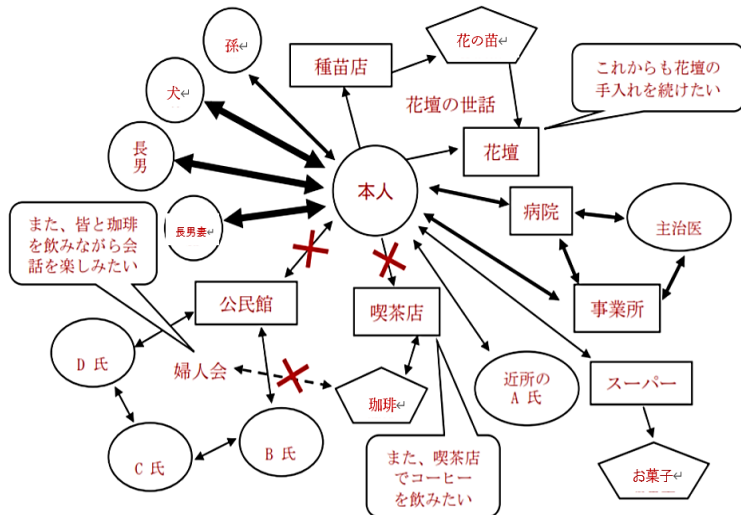
【これまでのつながり】



【現在の暮らし】

5時 起床
6時半 朝食
10時 畑仕事
12時 昼食
TV・散歩
19時 夕食
20時 入浴
22時 就寝

【現在のつながり】



◎生活歴（各エピソードに対する、本人の感情や予想される気持ちについても合わせて記載する）

S18 S.24 S.30 S.36 S.43 S.45 S.47 S.50 H.15 H.16 H.26 H.27
0歳 6歳 13歳 19歳 26歳 28歳 30歳 33歳 60歳 61歳 71歳 73歳

K市出生 小学校へ 中学は水泳部 入社 恋愛結婚 長男誕生 長女誕生 単身赴任 退職 シルバー人材 肺癌 再入院
三人兄弟 友達多い 部長だった 勤勉 妻は3つ下 喜ぶ 喜ぶ 寂しい 自宅へ まじめに頑張る 入院 治療苦しい
一番上 抗癌剤

*感情・気持ち

※個人情報保護のため、個人を特定できないように、十分留意してください。

各自記録用

お手元に保管してください

研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましよう。

研修名：専門研修 I

科目名：①ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定

受講日	1	時間	1	~	氏名	
	2		2	~		
会場	1	番号				
	2					

項目	受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備考
記入日(入力日)				
① 自己のケアマネジメントプロセスの客観的な評価を行うことができる。				
② ケアマネジメントプロセスの中で得意不得意を認識し活動の修正を行うことができる。				
③ 自己のケアマネジメントプロセスの客観的な評価結果に基づき、今後の学習課題の設定を行うことができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましよう。

研修名：専門研修Ⅰ

科目名：②介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							番号	
	2								

項目	受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備考
記入日(入力日)				
① 介護保険制度等の改正の内容とその理由について説明することができる。				
② 地域包括ケアシステムの構築にむけた現状及び展開における課題について説明できる。				
③ 地域包括ケアシステムの構築にむけて介護支援専門員の果たすべき役割について説明できる。				
④ 個別支援における地域ケアチームの一員としての役割について説明できる。				
⑤ 利用者の家族も含めた社会資源について説明できる。				
⑥ 利用者ニーズに応じた多様な社会資源(インフォーマルサービス等)の活用について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましよう。

研修名: 専門研修 I

科目名: ⑥-6ケアマネジメントの演習「社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例」

受講日	1		時間	1		氏名	
	2			2			
会場	1		番号				
	2						

項目	受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備考
記入日(入力日)				
① 生活保護制度、障がい者施策、成年後見制度等の制度と介護保険制度の関係について説明ができる。				
② 生活保護制度、障がい者施策、成年後見制度等の制度と介護保険制度の活用内容について説明できる。				
③ 生活保護制度、障がい者施策、成年後見制度等の制度等、いずれかの制度を活用した事例を用いてチームケアの必要性を述べるができる。				
④ インフォーマルサービスとの関係や個人情報保護についての対応について説明できる。				
⑤ 多数の社会資源の活用を必要とする具体的事例を挙げることができる。				
⑥ 虐待事例、他制度活用事例、インフォーマルサービスの連携が必要な事例等に対してアセスメントのポイントを解釈した最大限の社会資源の活用を実施できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましよう。

研修名：専門研修Ⅰ

科目名：③対人個別援助技術及び地域援助技術

受講日	1 <input type="text"/>	時間	1 <input type="text"/>	~	<input type="text"/>	氏名	<input type="text"/>
	2 <input type="text"/>		2 <input type="text"/>	~	<input type="text"/>		
会場	1 <input type="text"/>					番号	<input type="text"/>
	2 <input type="text"/>						

項目	受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備考
記入日(入力日)				
① 対人個別援助技術、地域援助技術の概念・機能・目的について説明できる。 (※以下、対人個別援助技術、地域援助技術とする)				
② 対人個別援助技術に必要な知識・技術について説明できる。				
③ 地域援助技術の展開技法について説明できる。				
④ 個別事例に基づいて地域づくりや資源開発などに至る一連のプロセスについて説明できる。				
⑤ 地域ケア会議における介護支援専門員の役割と、その活用における留意点を述べるができる。				
⑥ 保険者を含む多職種との連携の必要性と、その活用における留意点を述べるができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましよう。

研修名：専門研修Ⅰ

科目名：⑥-7ケアマネジメントの演習「状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービスや施設サービス等)の活用に関する事例」

受講日	1 <input type="text"/>	時間	1 <input type="text"/>	~	<input type="text"/>	氏名	<input type="text"/>
	2 <input type="text"/>		2 <input type="text"/>	~	<input type="text"/>		
会場	1 <input type="text"/>					番号	<input type="text"/>
	2 <input type="text"/>						

項目	受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備考
記入日(入力日)				
① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の意義と効果について説明できる。				
② 小規模多機能型居宅介護、複合型サービスの意義と効果について説明できる。				
③ 上記①、②のサービスを活用する際の重要な視点・連携方法について説明できる。				
④ 地域の多様な社会資源(インフォーマルサービス等)を活用したケアマネジメントについて説明できる。				
⑤ 施設サービス等の特徴と利用する際の留意点等を説明できる。				
⑥ 状態に応じた多様なサービスについて、複数の対応策の提案を実施できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましよう。

研修名：専門研修 I
科目名：④ケアマネジメントの実践における倫理

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							番号	
	2								

項目	受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備考
記入日(入力日)				
① ケアマネジメントを実践する上での介護支援専門員としての倫理原則について説明できる。				
② ケアマネジメントプロセスにおいて生じやすい倫理的課題とその対応における留意点について説明できる。				
③ 倫理的葛藤に対するチームアプローチについて説明できる。				
④ 高齢者の尊厳を守るための制度(成年後見制度・高齢者虐待防止法等)について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましよう。

研修名：専門研修Ⅰ

科目名：⑥-5ケアマネジメントの演習「家族への支援の視点が必要な事例」

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							番号	
	2								

項目	受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備考
記入日(入力日)				
① 家族支援に有効な社会資源について説明できる。				
② 家族関係に配慮しながら利用者支援の工夫を実施できる。				
③ 家族の健康状態や介護に対する思いを理解し利用者支援を実施できる。				
④ 家族関係や家族状況に合わせて、多数の社会資源(インフォーマルサービス等)の提案を実施できる。				
⑤ 家族の社会的状況も配慮しながらケアマネジメントを実施できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましよう。

研修名: 専門研修 I
科目名: ⑤ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践

受講日	1 <input type="text"/>	時間	1 <input type="text"/>	~	<input type="text"/>	氏名	<input type="text"/>
	2 <input type="text"/>		2 <input type="text"/>	~	<input type="text"/>		
会場	<input type="text"/>					番号	<input type="text"/>
	<input type="text"/>						

項目	受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備考
記入日(入力日)				
① 個別支援における医療の関わりについて説明できる。				
② 医療機関や多職種に情報を提供する際の留意点について説明できる。				
③ 医療機関や多職種から情報を収集する際の留意点について説明できる。				
④ サービス担当者会議では役割を持って多職種との効果的な意見交換を実施できる。				
⑤ 地域ケア会議での効果的な協働の手法を説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。
 【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましよう。

研修名：専門研修 I
科目名：⑥-4ケアマネジメントの演習「入退院時等における医療との連携に関する事例」

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							番号	
	2								

項目	受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備考
記入日(入力日)				
① 高齢者に多い疾患の特徴とその対処法について説明できる。				
② 高齢者の感染症の知識とその予防法について説明できる。				
③ 医療機関との連携方法に関しての様々な方法について説明できる。				
④ 入退院時等に必要な利用者のアセスメントを理解し工夫を実施できる。				
⑤ 高齢者の入退院時等に関する多様な背景を理解し、ケアマネジメントを実施できる。				
⑥ 入退院時等の医療との連携について、複数の対応策の提案を実施できる。				
⑦ 入退院時に合わせた地域の社会資源の活用を実施できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。
 【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましよう。

研修名：専門研修 I
科目名：⑥-1ケアマネジメントの演習「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」

受講日	1 <input type="text"/>	時間	1 <input type="text"/>	~	<input type="text"/>	氏名	<input type="text"/>
	2 <input type="text"/>		2 <input type="text"/>	~	<input type="text"/>		
会場	1 <input type="text"/>					番号	<input type="text"/>
	2 <input type="text"/>						

項目	受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備考
記入日(入力日)				
① リハビリテーション(口腔リハビリテーションを含む)や福祉用具に関する基礎知識について説明できる。				
② リハビリテーション(口腔リハビリテーションを含む)や福祉用具の連携についての方法について説明できる				
③ リハビリテーション(口腔リハビリテーションを含む)や福祉用具の活用について、アセスメントを実施できる。				
④ リハビリテーション(口腔リハビリテーションを含む)や福祉用具を使用する利用者に関して、複数の活用方法の提案を実施できる。				
⑤ リハビリテーション(口腔リハビリテーションを含む)や福祉用具の利用者効果について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましよう。

研修名: 専門研修 I
科目名: ⑦個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習

受講日	1		時間	1		~		氏名	
	2			2		~			
会場	1							番号	
	2								

項目	受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備考
記入日(入力日)				
① 個人学習や実践活動を促進するために指導を受けることができる。				
② 自らが指導を受ける態度に配慮できる。				
③ 生涯学習を意識して自己学習の計画の立案を実施できる。				
④ 教える為の考え方・内容・方法(コーチング・スーパービジョン等)の意義について説明できる。				
⑤ 自己評価と他者評価の必要性について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましよう。

研修名：専門研修Ⅰ

科目名：⑥-2ケアマネジメントの演習「看取り等における看護サービスの活用に関する事例」

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							番号	
	2								

項目	受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備考
記入日(入力日)				
① 訪問看護に関する基礎知識について説明できる。				
② 訪問看護を通して連携についての理解や効果的な活用を実施できる。				
③ 看取り等における看護サービスの活用方法について説明できる。				
④ 看取り等について、多様な提案を実施できる。				
⑤ 看取り等において利用者の気持ちの変化に応じたケアマネジメントを実施できる。				
⑥ 看取り等における地域の社会資源(インフォーマルサービス等)を活用したケアマネジメントを実施できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましよう。

研修名：専門研修 I
科目名：⑥-3ケアマネジメントの演習「認知症に関する事例」

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							番号	
	2								

項目	受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備考
記入日(入力日)				
① 認知症や精神疾患に関する医学的・心理的基礎知識について説明できる。				
② 認知症施策に関わる多職種連携について説明できる。				
③ 認知症等の状況に応じた対応方法の提案を実施できる。				
④ 認知症等の利用者だけでなく、家族が地域での生活を継続できるように支援するケアマネジメントを実施できる。				
⑤ 個別の認知症状等に合わせて地域の社会資源(インフォーマルサービス等)の活用を実施できる。				
⑥ 認知症等について、複数の対応策の提案を実施できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。
 【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましよう。

研修名：専門研修 I
科目名：⑧研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							番号	
	2								

項目	受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備考
記入日(入力日)				
① 指導する側と受ける側の姿勢について説明できる。				
② 学習内容や個人としての振り返りを実施できる。				
③ 地域での学習活動の振り返りを実施できる。				
④ 継続した自己研鑽の意義について説明できる。				
⑤ 研修受講者間での意見交換により今後の学習課題を判断できる。				
⑥ 研修受講者間でのネットワークの構築を実施できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいくほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。
 【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない